

国民の世論と運動で、「社会保障・税一体改革」をやめさせ、社会保障拡充への転換を！

# ほっかいどうの社会保障

2014年7月26日 北海道社会保障推進協議会 Tel:011-758-2648 FAX:758-4666

## 国民健康保険制度の充実を

保険税(料)の引き下げや不当な滞納制裁の中止を



江別

国保税引き下げ署名 1万筆以上めざし決起集会

宣伝カーも運行



7月13日、江別市国保税引き下げを求める会「市民総決起集会」が行われ、60人以上参加し、国保税引き下げを求める署名を1万筆以上集めて、9月議会に請願する意志統一をしました。

集会では、道生連の佐藤宏和副会長が記念講演を行い、取り組みの交流を行いました。文京台地域からは、実行委員会をつくり、当初目標を達成し、再目標達成に向けいきいき取り組んでる様子が報告されました。(12日現在6287筆で昨年の署名数を上回っています)。会では、市内を宣伝カーも運行しています。

集会後、スーパー前で署名行動も行い、7700筆を越えています。

北見

昨年を上回る署名で国保料の引き下げを

実態調査も実施中

7月17日、北見市の国保をよくする会は、総会を開き、昨年の活動を振り返り、今年の方針を確認しました。

国保改善をめざす取り組みでは、市に対して、①保険料の引き下げ、②実効性のある減免制度の拡充、③短期証・資格証の発行や生活の実態を顧みない強権的な差押えなど、命と健康を脅かす制裁行政をやめさせ、市民本位の国保行政、④窓口一部負担金減免制度の拡充、⑤国保の国庫9負担増額と市町村の責任を放棄させる国保広域化に反対することを求め、請願署名や交渉などをすすめることにしました。

国保料引き下げ署名は、昨年の1万1千筆以上の取り組みをすすめ、引き続き、相談会や実態調査アンケートも行うことしました。総会の翌日から署名をはじめています。



「滞納処分については鳥取県児童手当差押事件判決の立場で税務とも協議します」  
「国民健康保険制度は社会保障制度です」

根室社保協 市と懇談

7月24日、根室社保協は、根室市と「医療・介護に関わる施策」について要望し懇談しました。国保問題では、「高すぎる保険料の引き下げ」、「資格証明書の発行をやめること」「短期保険証は原則全件郵送交付し留め置きはしないこと」「加入者の立場にたった納付相談」「一部負担減免制度の拡充と周知」「生活保護世帯からの国保料の徴収」「滞納処分については、鳥取県児童手当差押事件広島高裁判決を踏まえた対応に」「根室市ホームページで国保の説明を『みんなが助け合う医療保険制度』等の記述の訂正」などを求めました。



●滞納処分について、社保協は「1998年の最高裁判決で差押禁止債権が預金口座に入った場合に、属性を失うという判例を根拠に、過度に機械的に運用することが全国的に広まった。今回の判決で、差押禁止債権は預金口座に振り込まれても差し押さえてはならないと確定した。国税局も、財務大臣も、総務大臣も認めた」との指摘に対し、市側は「この判決は重たいと考えている。これまで、98年最高裁判例に基づいてきた部分がある。この高裁判決は、最近知った中身なので、税務でも同様の問題が関わるので、早急に協議して対応を図りたい」と回答しました。

●国民健康保険について、市は「社会保障制度です。HP(の表現方法)は研究する」と回答しました。